

# しおんだより VOL.7



## With Coronaの時代の外来診療

新型コロナウイルス感染症との闘いは、予想以上に長引きそうです。当院も、外来、入院ともに診療の体制を大きく変えてきました。

まず、外来については、受診された際には、正面入り口のところで受診された方の体調をお伺いしたり、体温を測定したりしています。今年度に入ってからは、自動的に体温を計測できる機器も導入しています。感染拡大を防ぐために、マスクとフェイスシールドを装着し、ビニールエプロンを着た職員がお一人お一人にお声がけをしています。お手数をおかけしますが、安心して受診していただけるようにしておりますので、ご協力をいただければ幸いです。

また、もし、来院時に発熱がおありであることがわかれば、感染対策の一環として、別にお待ちいただけるお部屋を準備しており、必要に応じて、こちらで医師の個別の診察をお受けいただけます。

このような対策により、どなた様にも安心して受診していただけるようにしています。

外来待合の椅子も、感染対策のため、お互いに背中を向けて合せて座っていただくように変更しています。



## 入院患者さんへのご対応

当院へのご入院の際には、基本的にはCOVID-19のPCR検査を施行し、陰性を確認しています。もちろん、検査ですので100%完璧ではありませんが、院内でのクラスター発生を起こさないためにも、入院前の検査を徹底しています。ご入院の際には、お手数をおかけしますが、是非ともご協力をよろしくお願いします。

また、感染対策の一環で、本意ではありませんが、ご入院患者さんへのご家族を取りやめていただいております。病気の療養において、ご家族やご友人のお見舞いや励ましは、とても大きな意味があります。また、終末期を迎えられた方については、少しでもご一緒していただける時間をとれるようにしたいとも願って参りました。しかし、この状況で、多くの方に病棟内にお入りいただくことは、やはり、感染対策の観点から避けなければ、なりません。こちら、ご協力をいただければ幸いです。



もちろん、日々、治療や看護・介護にあたる当院の職員の健康管理や、業務中の手洗いや消毒の励行、エプロンの装着など感染対策にも力を入れています。

毎朝の体調チェックや出勤時の体温チェックは欠かさず行うとともに、感染につながるような行動を控えるように要請をしています。また、5月中旬には、新型コロナウイルスのワクチン接種は、ほとんどの職員が済ませていますので、ご安心下さい。

## 当院の屋上からの風景

当院の屋上からは、真正面に阿倍野ハルカスが見え、その手前には、色々と連携している大阪市立大学医学部附属病院が見えます。周辺にはあまり高い建物もなく、広い空を楽しむことができます。

院内保育ルームの子どもさんの遊び場にもなっており、忙しい毎日でも、ちょっとほのぼのする瞬間でもあります。



梅雨の時期には、少しおあずけの風景です！

しおんだより 第7号 発行日：令和3年5月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: [www.shion-hp.or.jp](http://www.shion-hp.or.jp)